

2020年度秋学期実施
「対面授業に関する学生アンケート」
(ダイジェスト版)

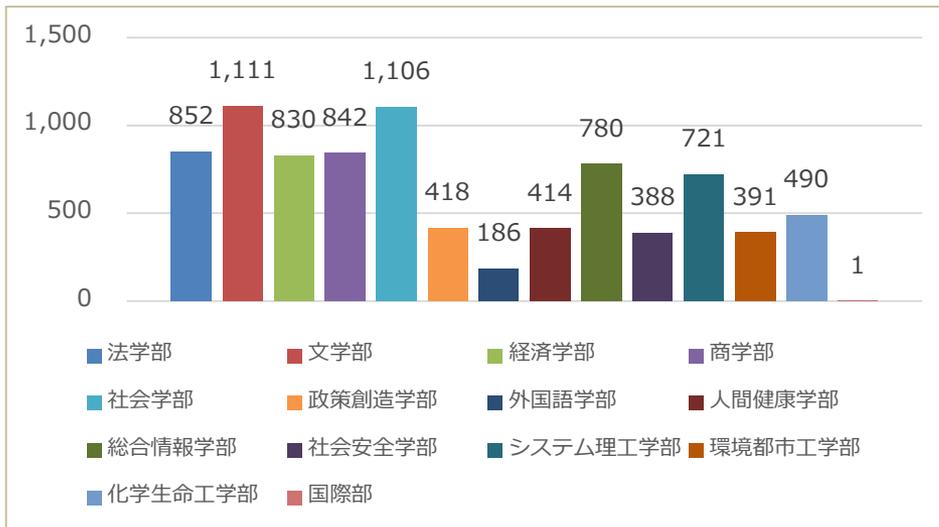
教学IRプロジェクト



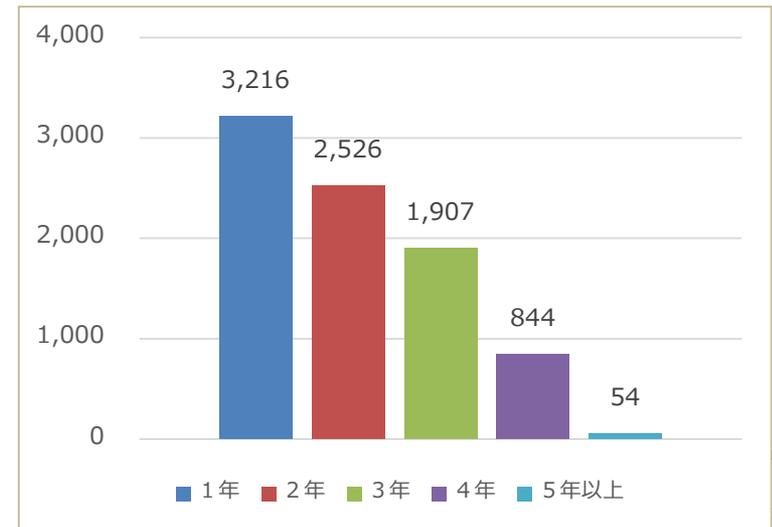
- 関西大学は2020年度秋学期授業は、原則対面授業が実施された。
- 教学IRプロジェクトでは、以下のとおり、学部学生に対してアンケートを実施し、学年別集計や学部別集計を行った。

- 1 調査期間 : 2020年12月7日(月) ~ 2021年1月6日(水)
- 2 実施対象 : 学部生全員 (28,369名)
- 3 調査方法 : 無記名によるインターネットを活用したアンケート調査
- 4 調査結果 : 有効回答 8,556件 (回答率 30.2%)
- 5 回答者属性 :

学部別回答数



学年分布



- 春学期より実施された緊急対応型遠隔授業に対する学生からの評価（満足度等）は高く、秋学期から実施した対面授業に対する値よりも高いものであった。
- 遠隔授業の利点は、「時間的・物理的制約を問わず、自学自習しやすいこと」に集約される。困っていることとして、「集中力が続かない、学習のペースがつかみにくいなどの自学自習」「友達ができないなどの対人的要素」が多く挙げられていた。
- 対面授業の利点は、「他の受講生との交流や孤独感の低減などの対人的要素」「授業を通じて得られる知識以外の情報」など多面的であった。困っていることとして、「一方的な講義の多さ」が最も多く挙げられていた。
- 受講形態別では、50名以上の講義科目ではオンデマンド型、それ以外の実験実習や演習、実技、ゼミなどでは対面授業が受講しやすいという結果であった。
- 対面再開に伴う学生生活（交友関係、課外活動、施設利用等）の満足度は総じて高く、特に1年生は他の学年に比べて全ての事項で高い値を示していた。



教育

- ・遠隔授業によって対面授業が相対化され、そのあり方が問われることとなった。
- ・知識伝達・習得であれば遠隔授業が効果を発揮し、対面授業ではそれ以外の資質・能力の育成に寄与しうる授業デザイン（双方向性の確保、アクティブラーニングの推進等）が求められる

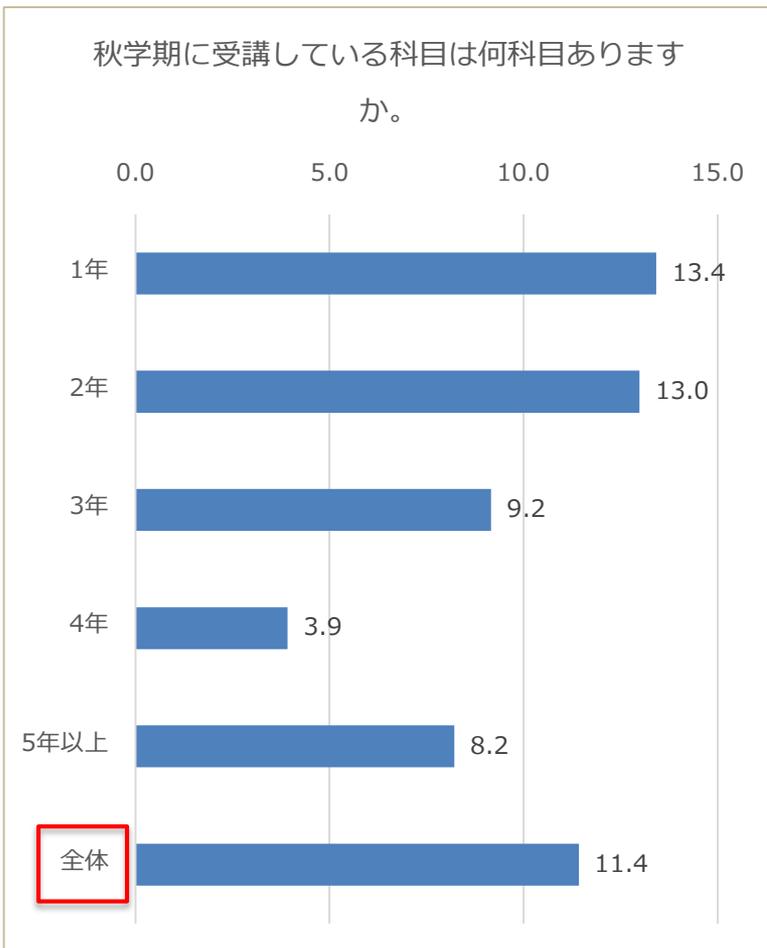
学生支援

- ・大学に来ることが出来ないという状況によって、大学の持つ価値が再認識された。
- ・大学は、学生が学び成長するために不可欠な「関わり」や「つながり」を生み出す場所であり、その実現のための機会や環境の提供が求められる。



- 全体では、一人当たりの受講科目数の平均は、11.4科目
- 遠隔授業科目数平均は4.7科目、対面授業科目数平均は6.6科目
- およそ6割が対面授業、4割が遠隔授業で受講

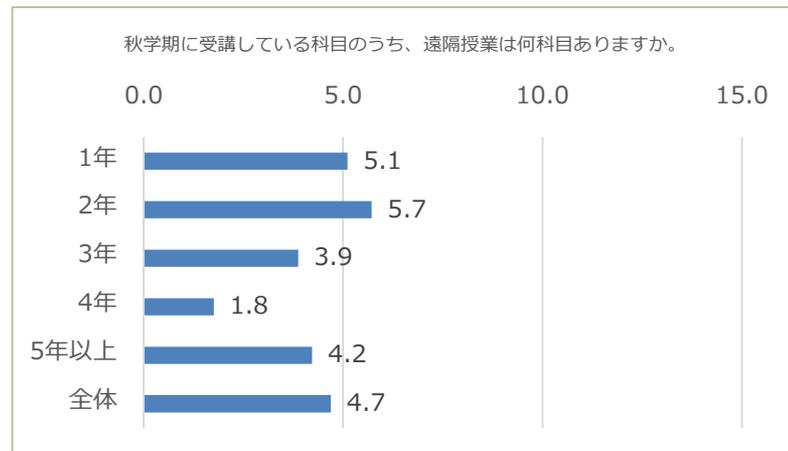
【科目全体（平均）】



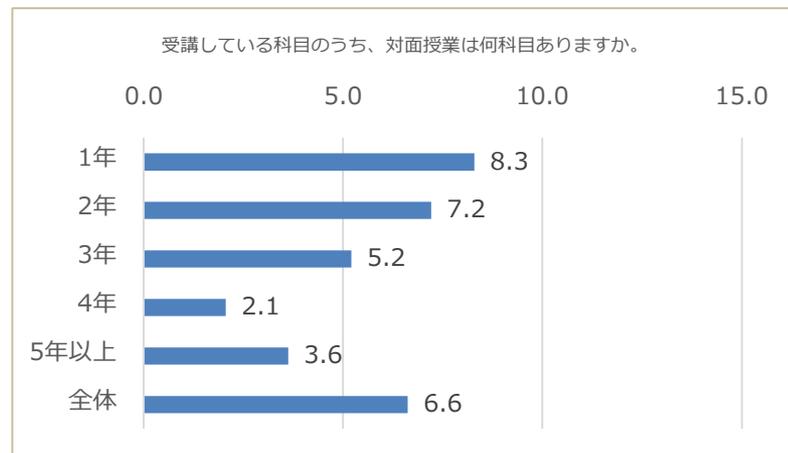
遠隔授業



【遠隔授業科目（平均）】



【対面授業科目（平均）】



対面授業

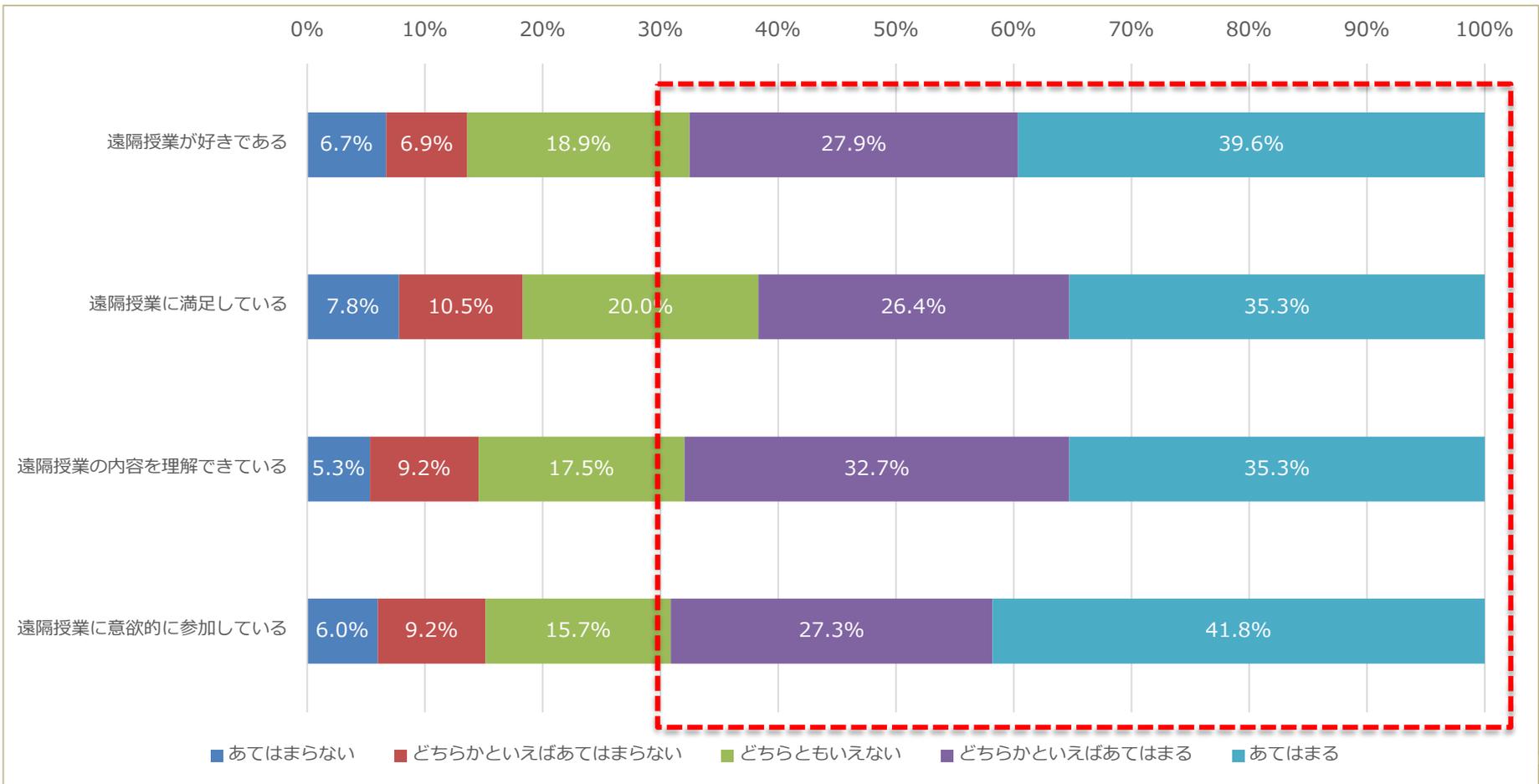


2 遠隔授業について

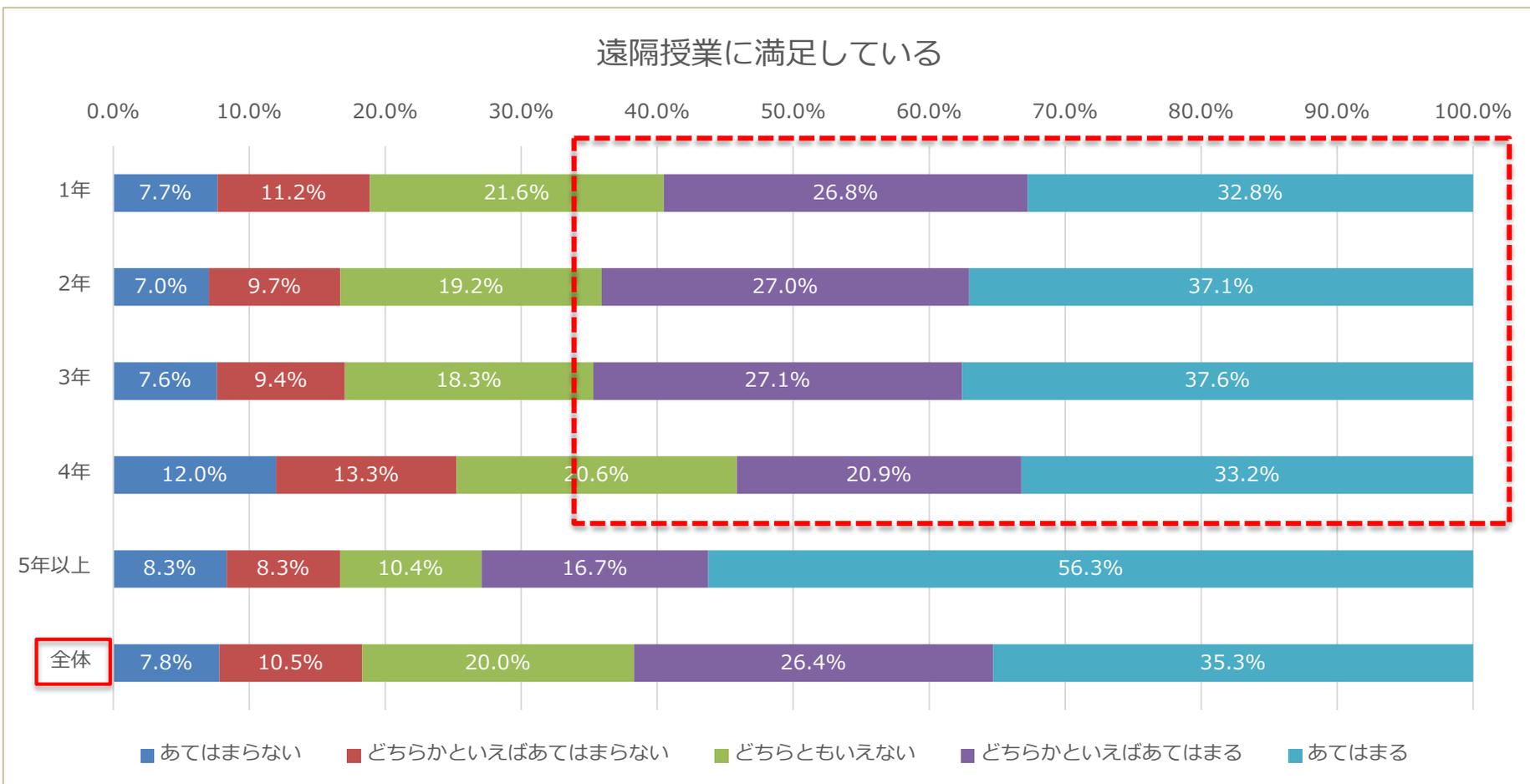


①遠隔授業を受講してみて、どのように感じていますか。

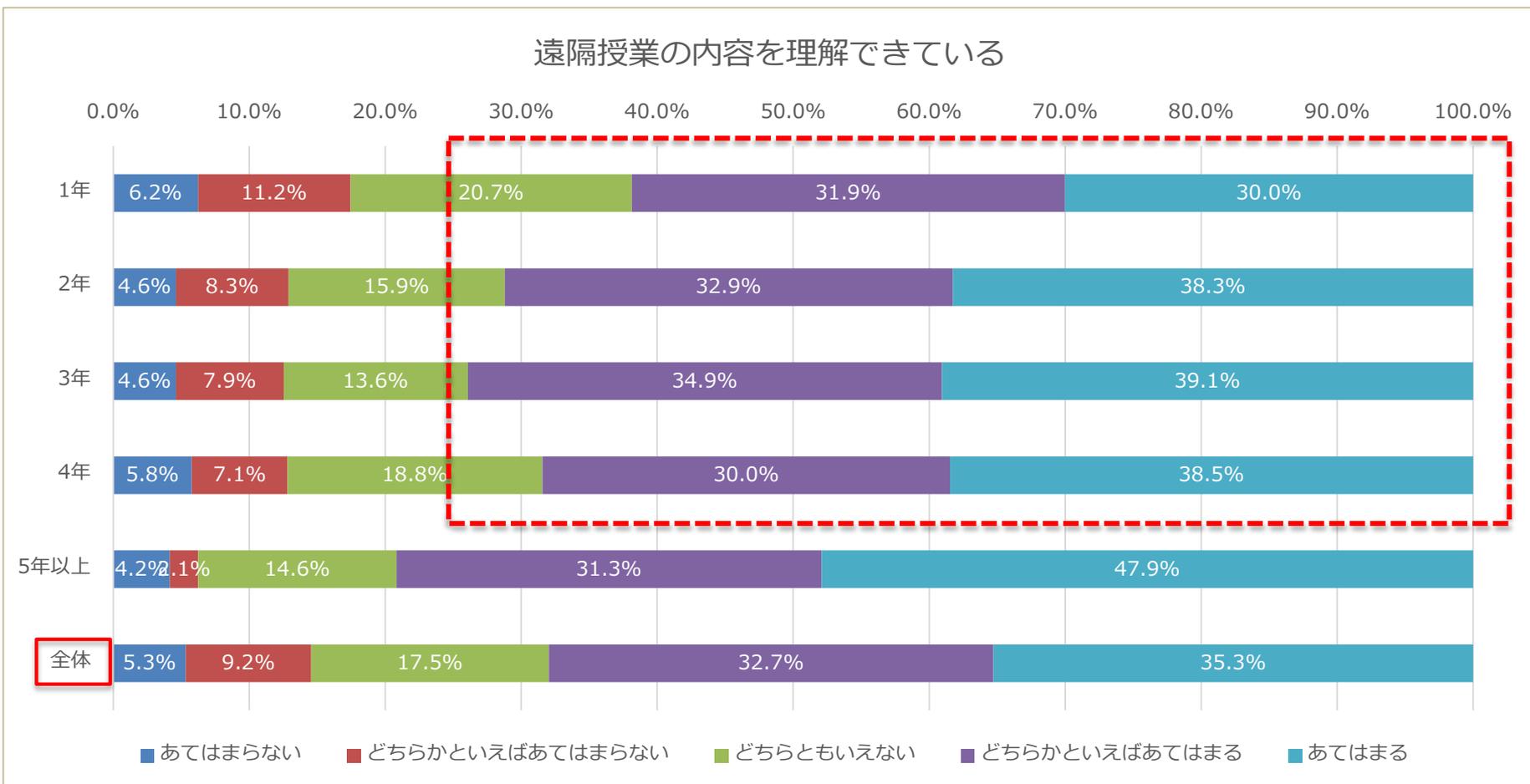
- 全体集計では、遠隔授業に関するそれぞれの項目に対して好意的な回答（どちらかといえばあてはまる+あてはまる）が50%超となった
- 「理解度」や「参加意欲」の好意的な回答は約7割弱となり高い傾向となった



- 全体では、61.7%で遠隔授業に満足していると回答した
- 学年別では、2年と3年の満足度は6割超となったが、1年(59.6%)と特に4年(54.1%)の満足度が低い傾向となった



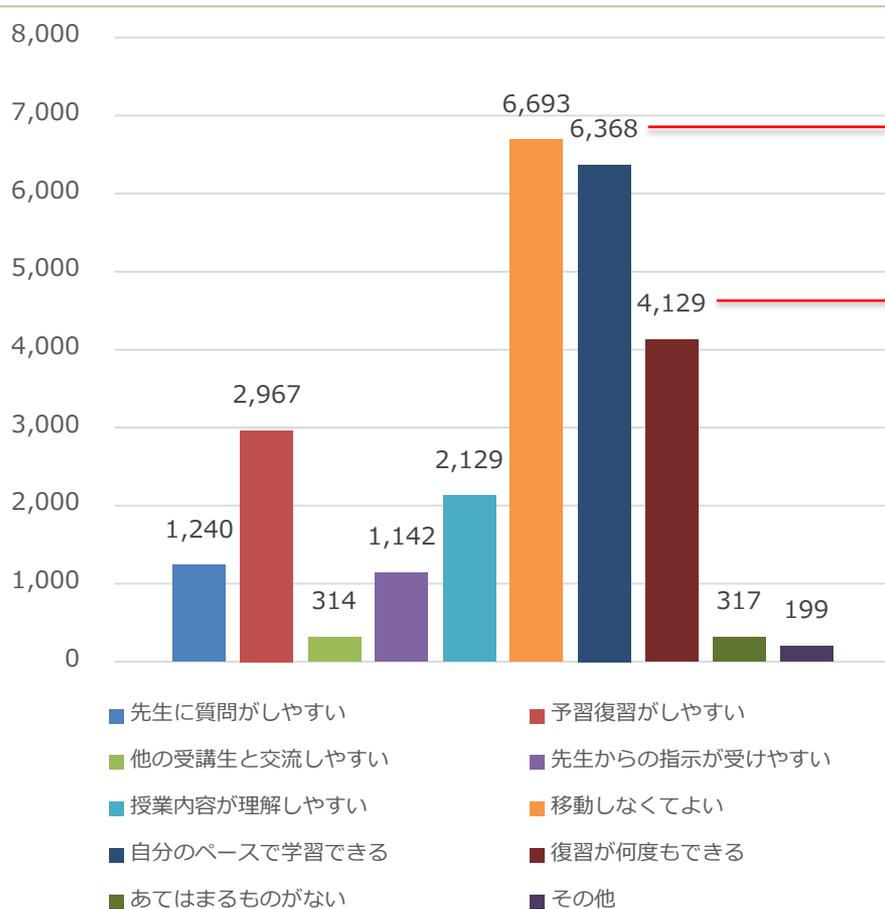
- 全体では、68.0%が遠隔授業を理解していると回答した
- 学年別では、3年(74.0%)が一番高く、次いで2年(71.2%)、4年(68.5%)、1年(61.9%)となった



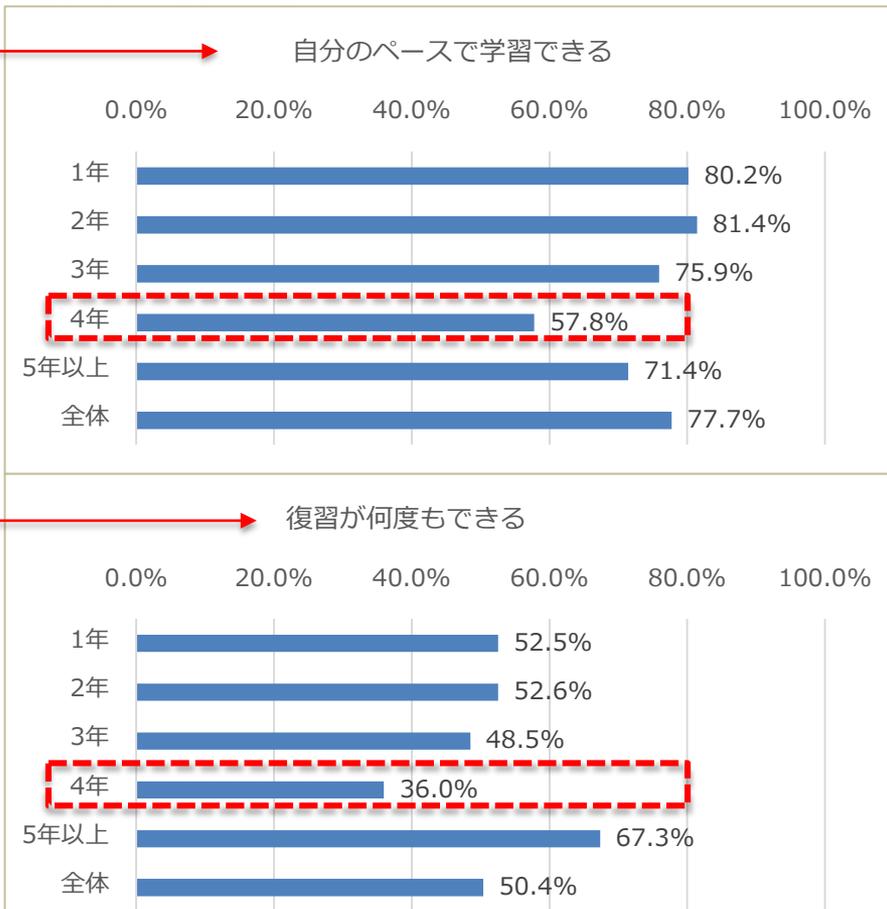
②遠隔授業を受講して「よかった」と思うことをすべて選んでください (複数選択)。

- 「移動しなくてよい (78.2%)」「自分のペースで学習できる (77.7%)」が多く選ばれた (項目間の差が大きかった)
- いずれの項目も4年が低くなる傾向となった

【全体集計 (人数)】



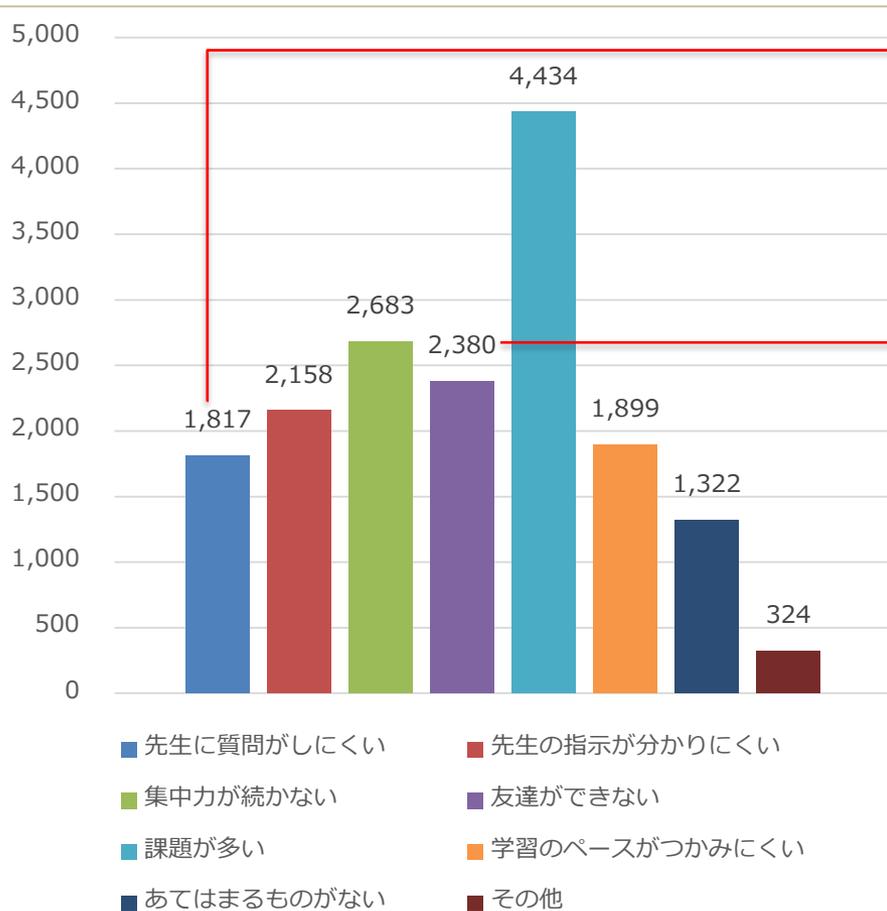
【学年別 (割合)】



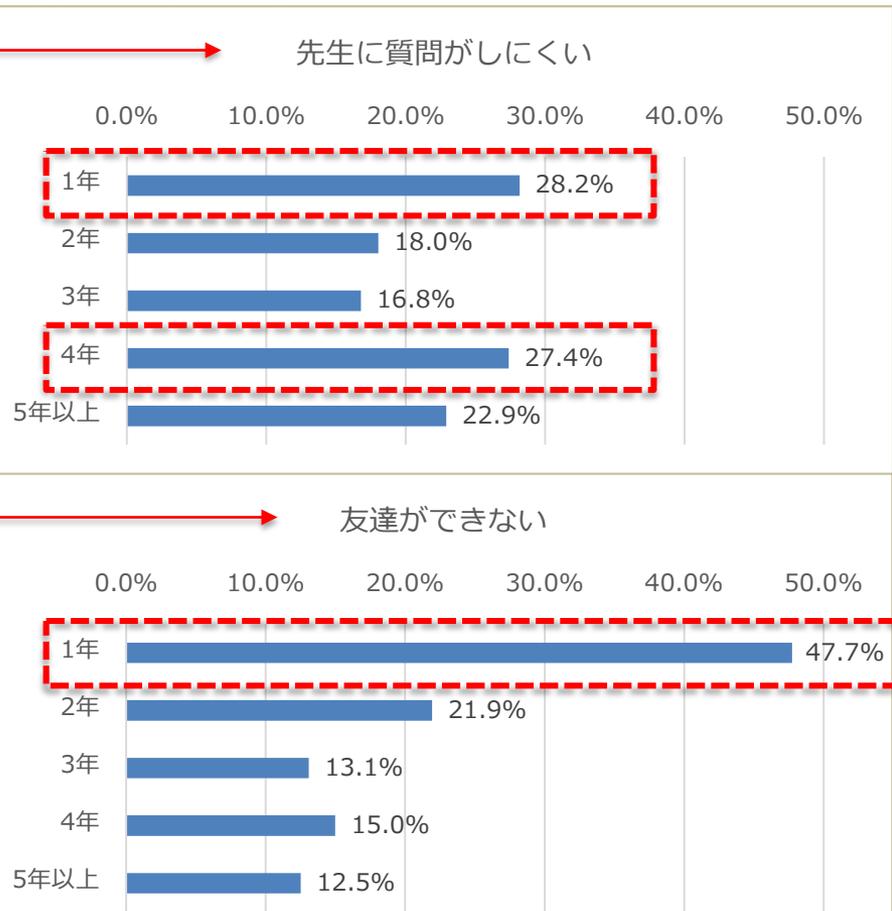
③遠隔授業を受講して「困っている」ことをすべて選んでください（複数選択）。

- 「課題が多い (51.8%)」が一番多く選ばれた
- 「先生に質問がしにくい」、「友達ができない」で学年による差異があった

【全体集計（人数）】



【学年別（割合）】

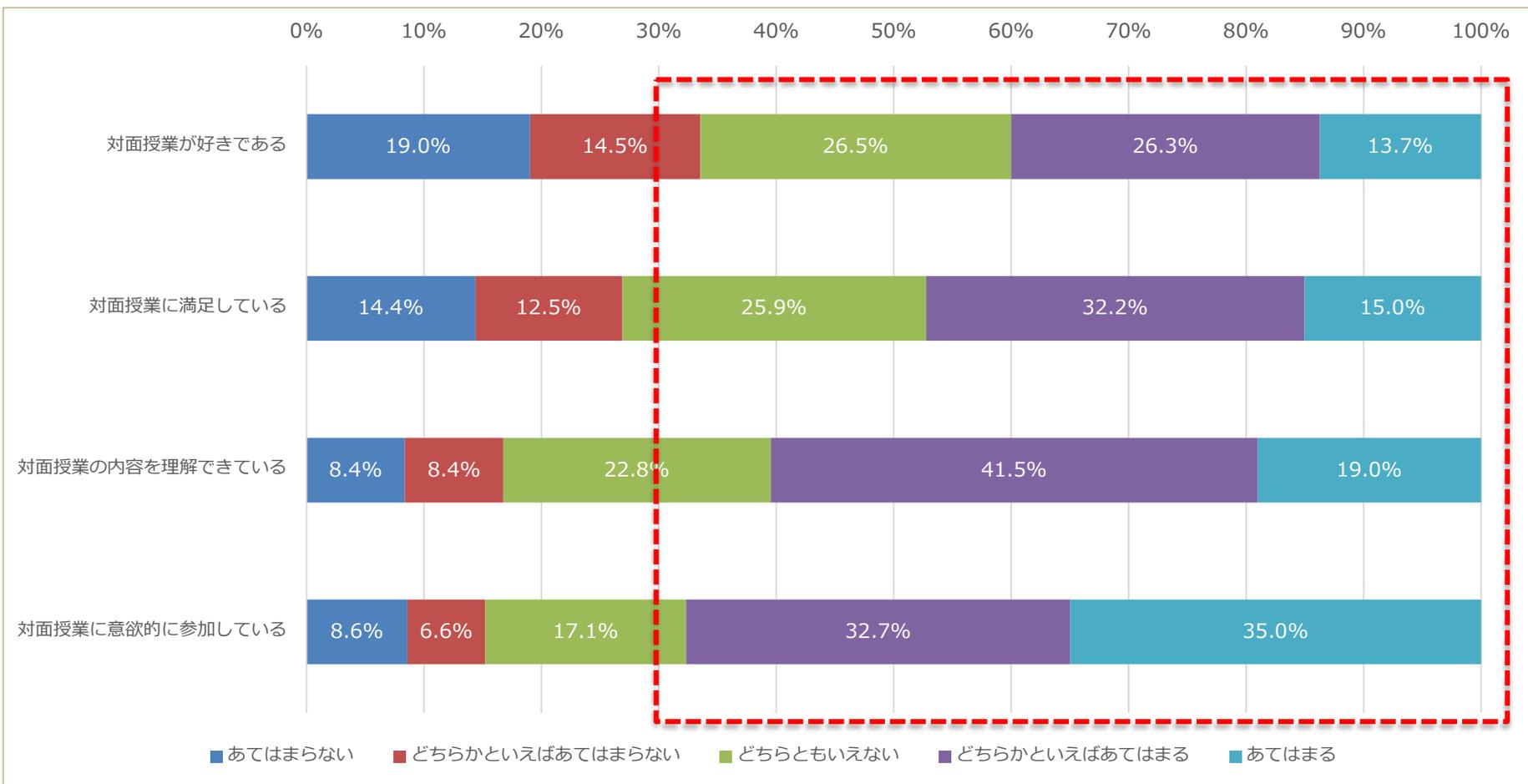


3 対面授業について

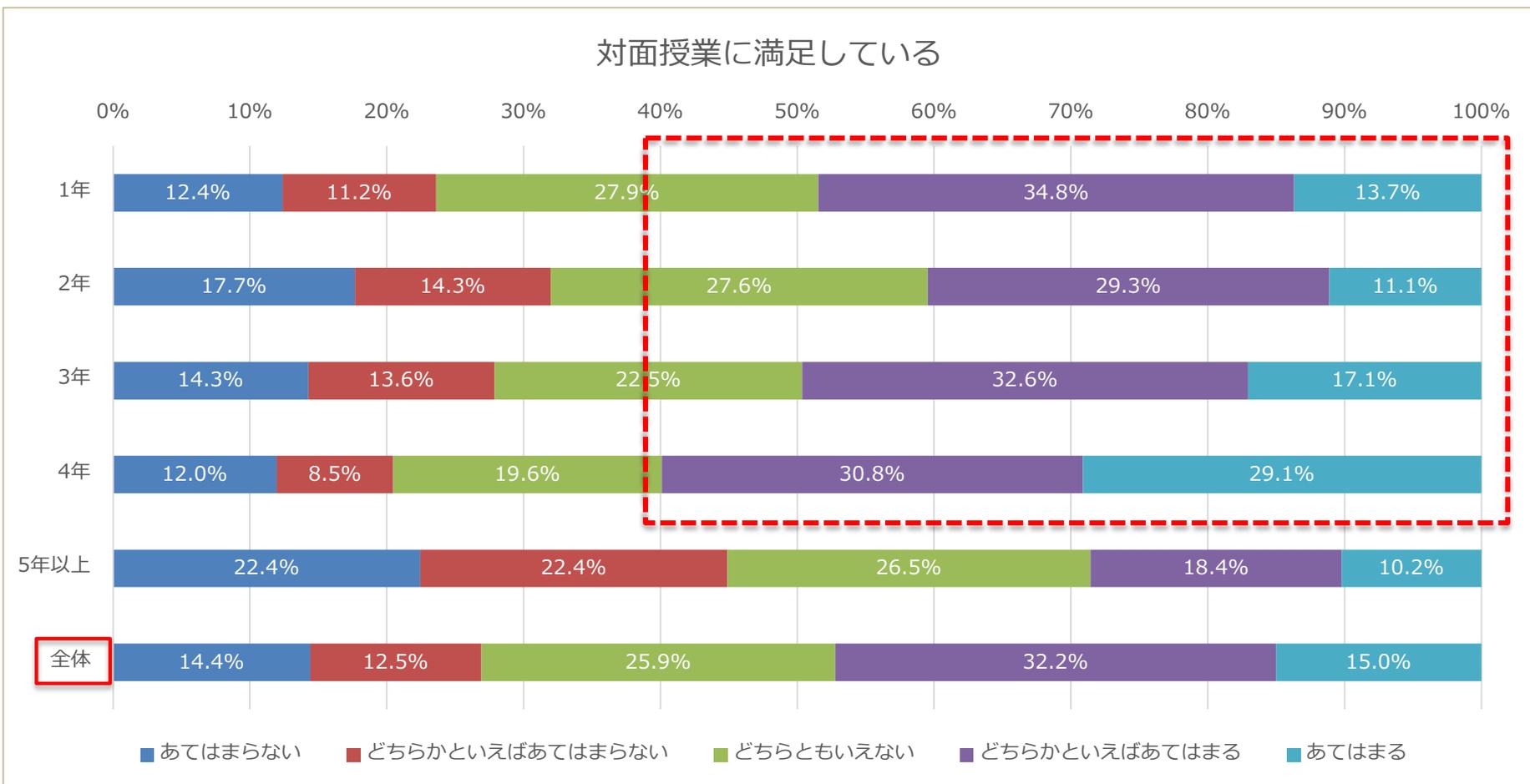


①対面授業を受講してみて、どのように感じていますか。

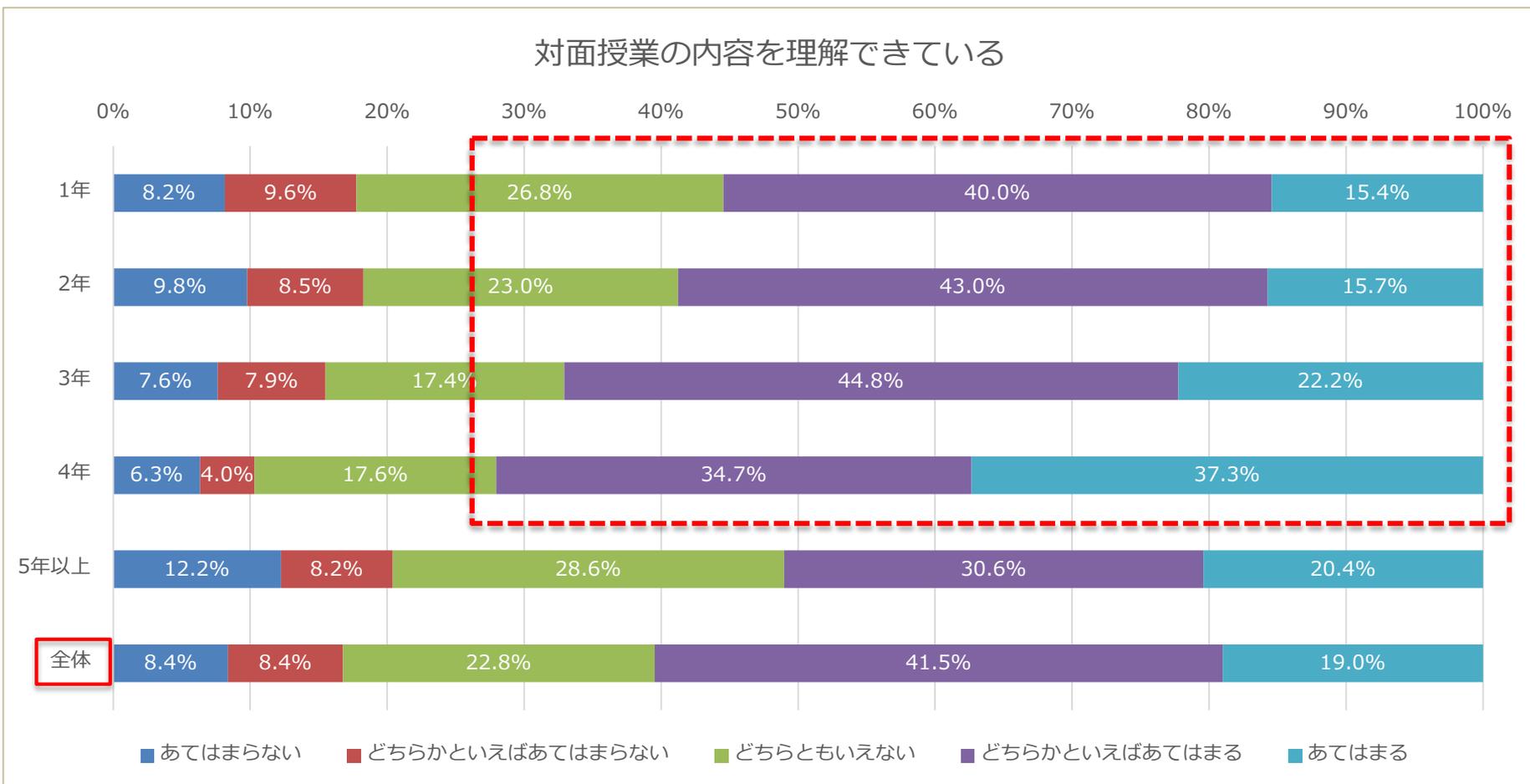
- 全体では、対面授業に「意欲的に参加している」値は67.7%となった
- 「好き (40.0%)」、「満足している (47.2%)」の値は、遠隔授業に比べて低い傾向となった



- 全体では、47.2%で対面授業に満足していると回答した
- 学年別では、4年(59.9%)が一番高く、次いで3年(49.7%)、1年(48.5%)、2年(40.4%)となった

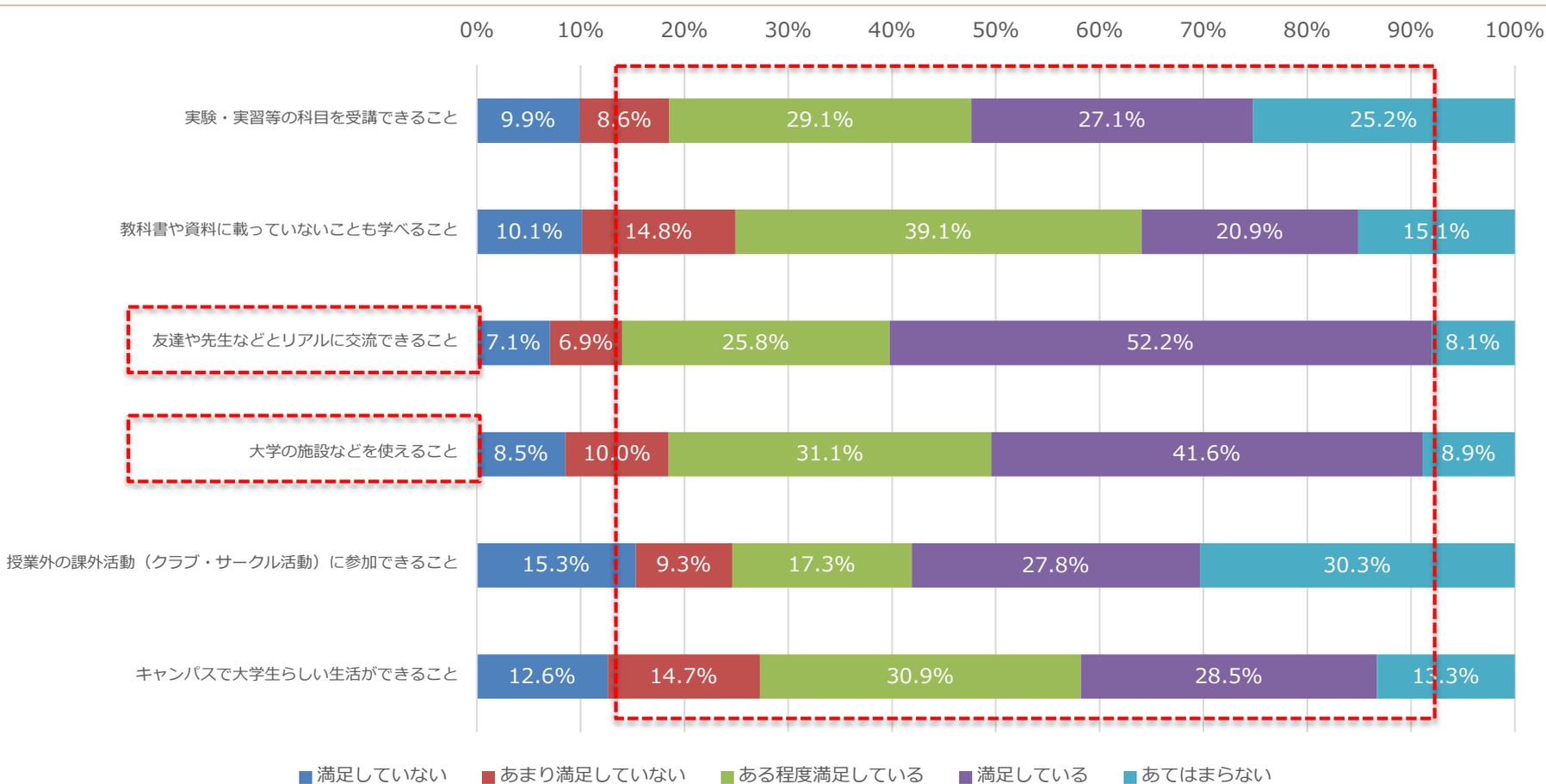


- 全体では、60.5%で対面授業の内容を理解できていると回答した
- 学年別では、上位年次ほど理解度は高い傾向になり、4年（72.0%）、3年（67.0%）、2年（58.7%）、1年（55.4%）となった



②秋学期対面授業が再開して、以下の事柄にどの程度満足していますか。

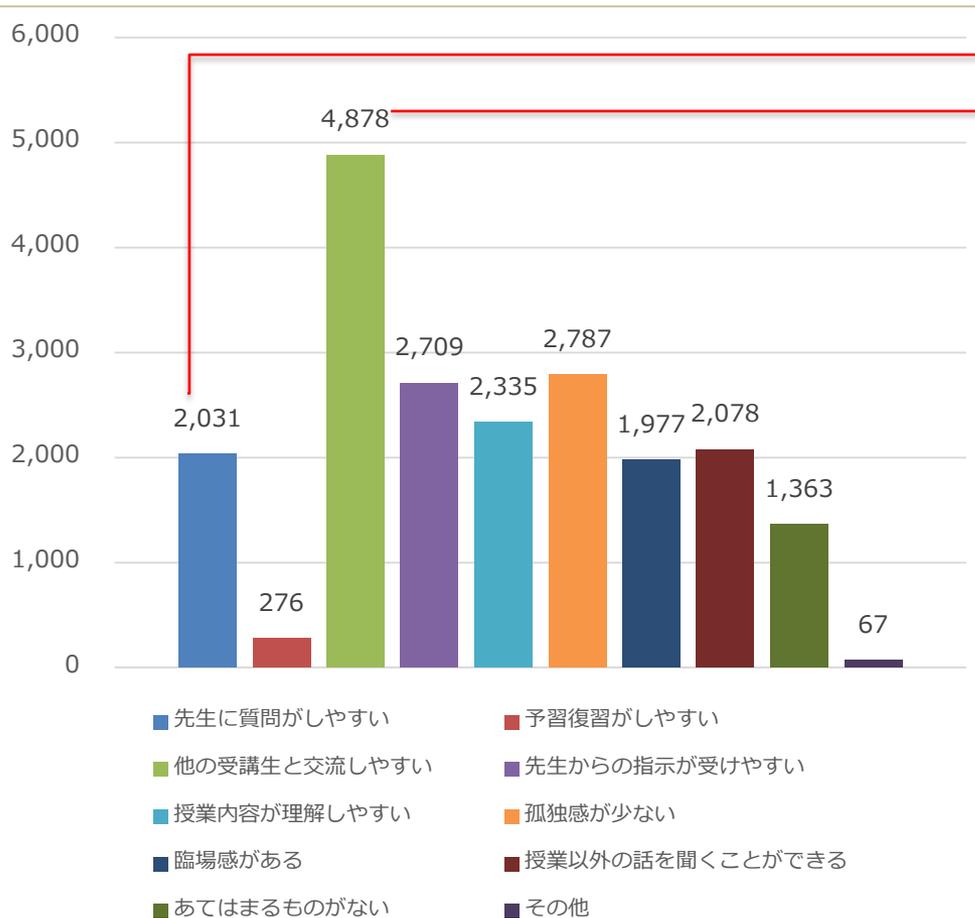
- 全体（ある程度満足している+満足している）では、「友達や先生とリアルに交流ができること（78.0%）」「大学の施設などを使えること（72.7%）」の満足度が高い傾向となった



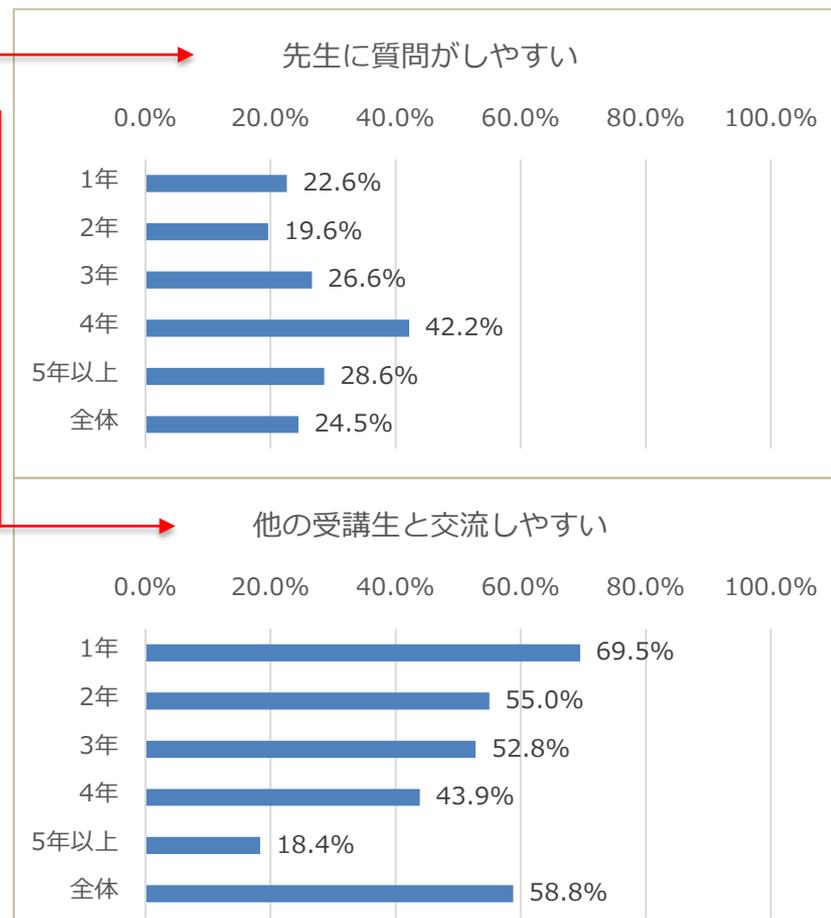
③対面授業を受講して「よかった」と思うことをすべて選んでください (複数選択)。

- 「他の受講生と交流しやすい (58.8%)」が一番多く選ばれた
- 「他の受講生と交流しやすい」は、下位年次の回答割合が高い
- 「先生に質問がしやすい」は、上位年次の回答割合が高い

【全体集計 (人数)】



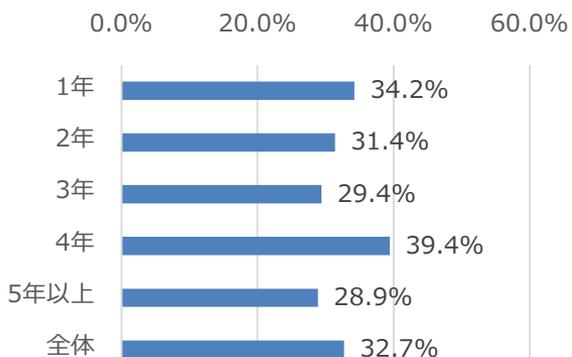
【学年別 (割合)】



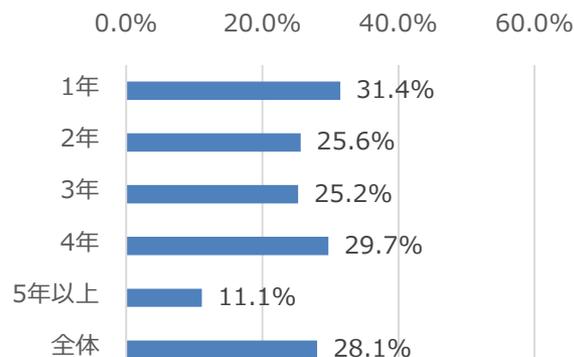
③対面授業を受講して「よかった」と思うことをすべて選んでください (複数選択)。

- 「孤独感が少ない」では1年の回答割合 (42.7%) が高くなった
- その他の項目では、学年による大きな差異がなかった
- 「よかった」と思う項目にかたよりはなく、まんべんなく選択された

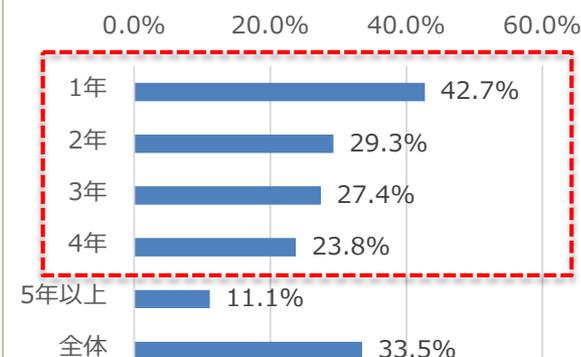
先生からの指示が受けやすい



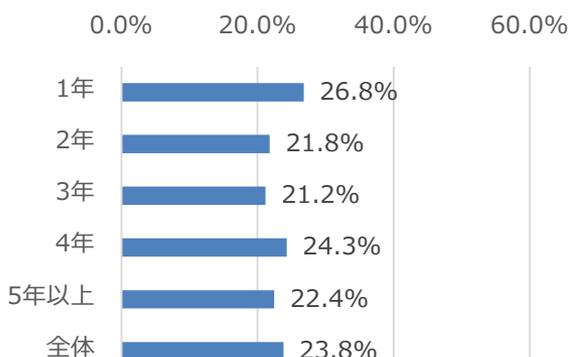
授業内容が理解しやすい



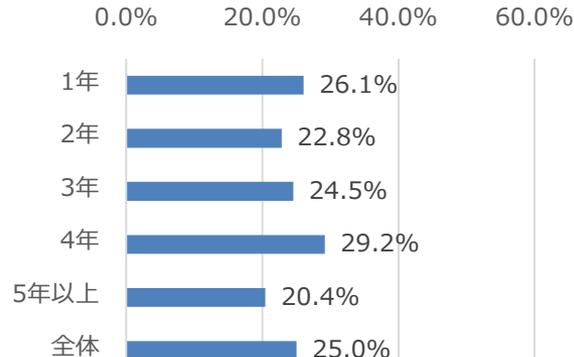
孤独感が少ない



臨場感がある



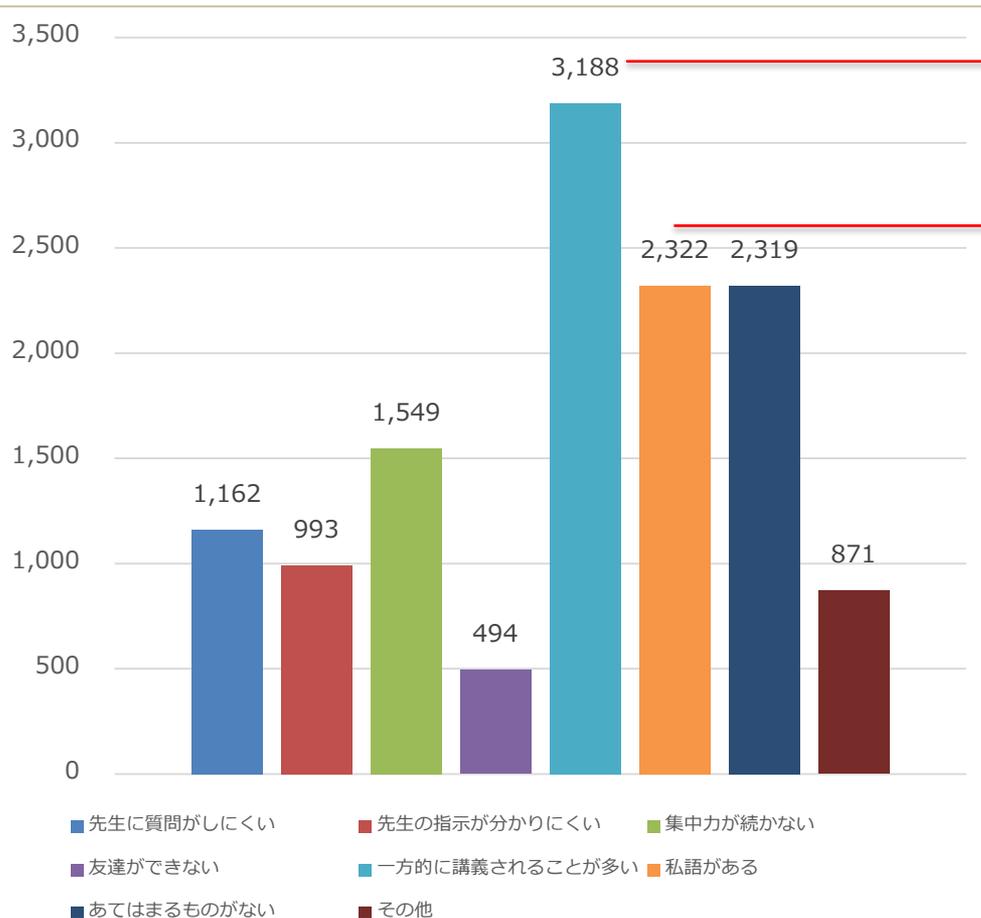
授業以外の話を聞くことができる



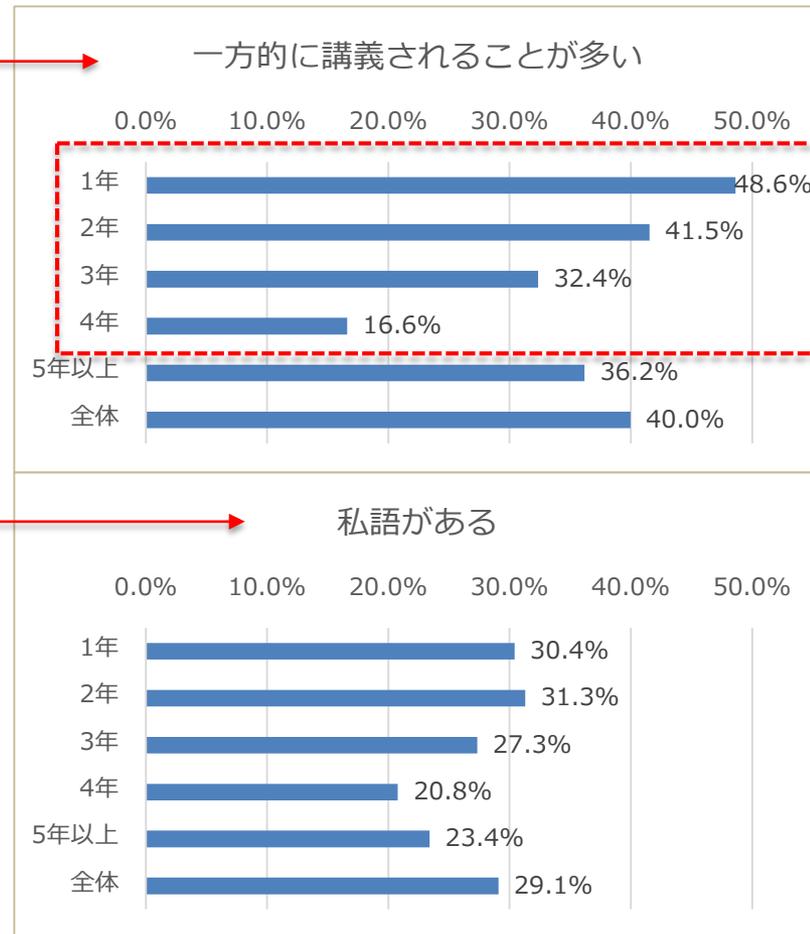
④対面授業を受講して「困っている」ことをすべて選んでください（複数選択）。

- 「一方的に講義されることが多い (40.0%)」が多く選ばれた
- 「一方的に講義されることが多い」は、学年による差異があり、下位年次ほど回答割合が高い傾向となった

【全体集計（人数）】



【学年別（割合）】

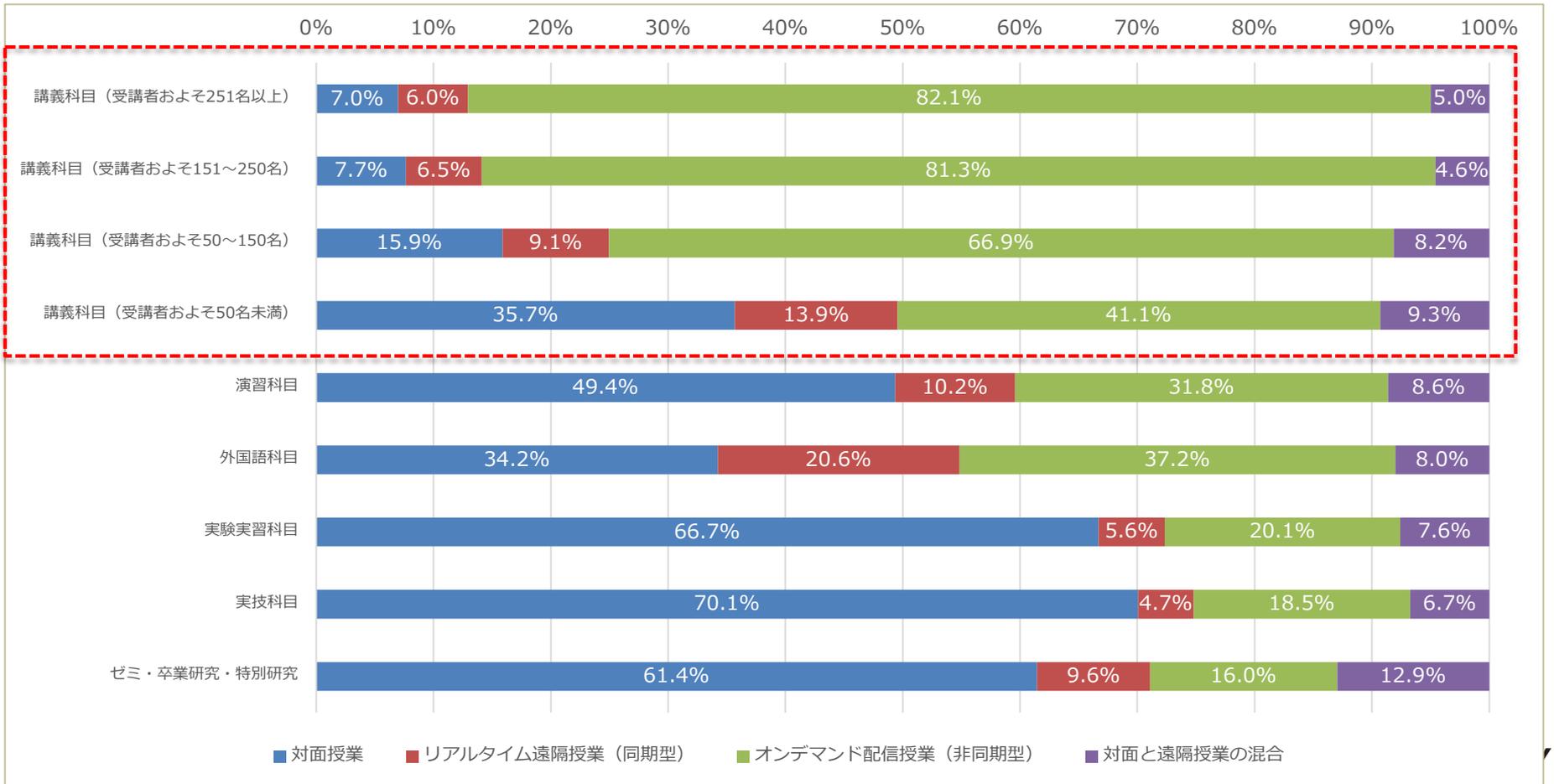


4 授業形態について

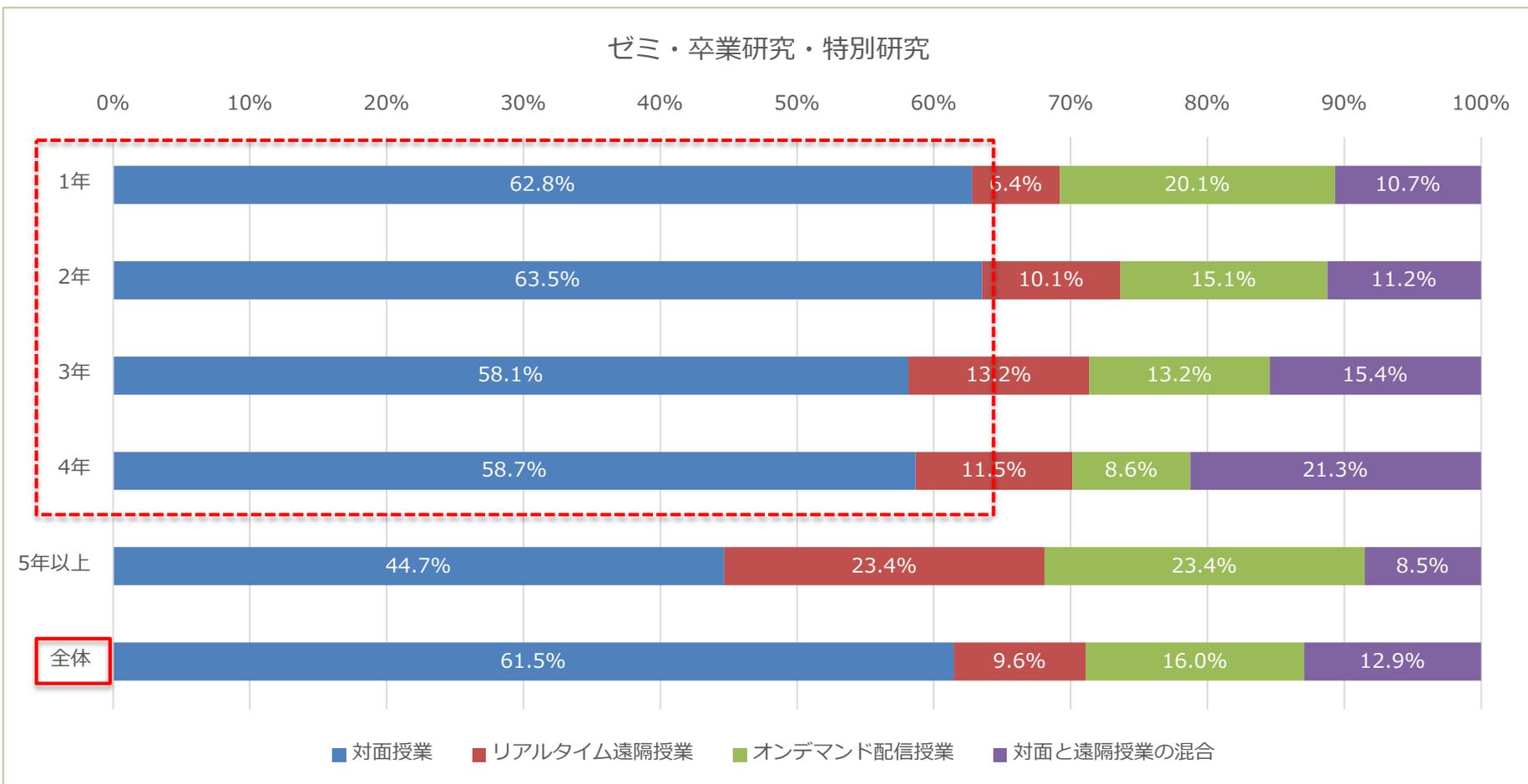


①次のうち、あなたが受講しやすいと思う受講形態をそれぞれ選んでください。

- 全体では、ゼミ・実技・実習・演習科目は対面授業が学びやすく、50名を超える講義科目はオンデマンド配信授業が学びやすい
- いずれの受講形態も「対面と遠隔授業の混合」は多く選ばれなかった



- 全体では、対面授業（61.5%）が多く選ばれ、オンデマンド配信授業は（16.0%）であった
- 4年では対面と遠隔授業の混合（21.3%）も多く選ばれた



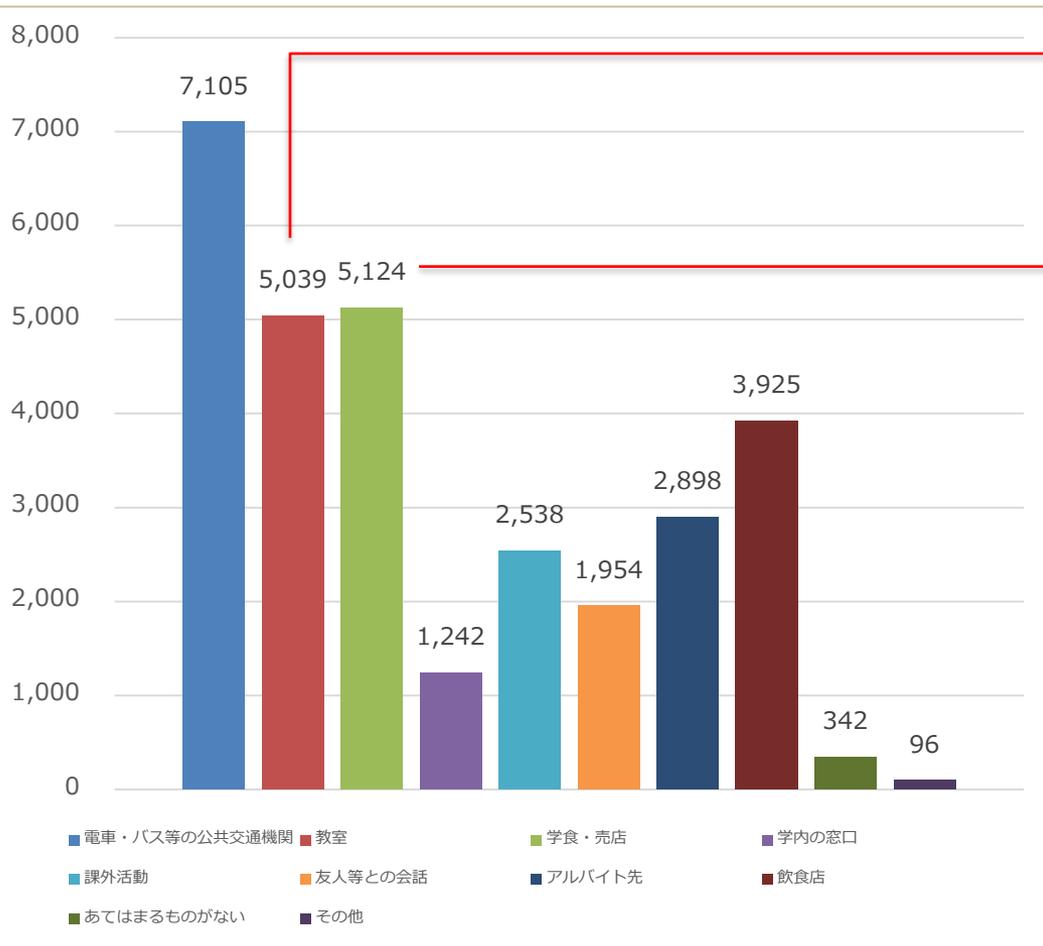
5 日常生活について



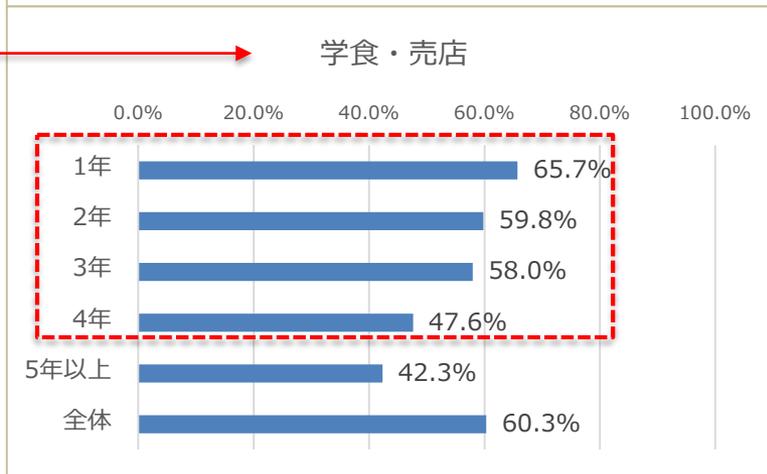
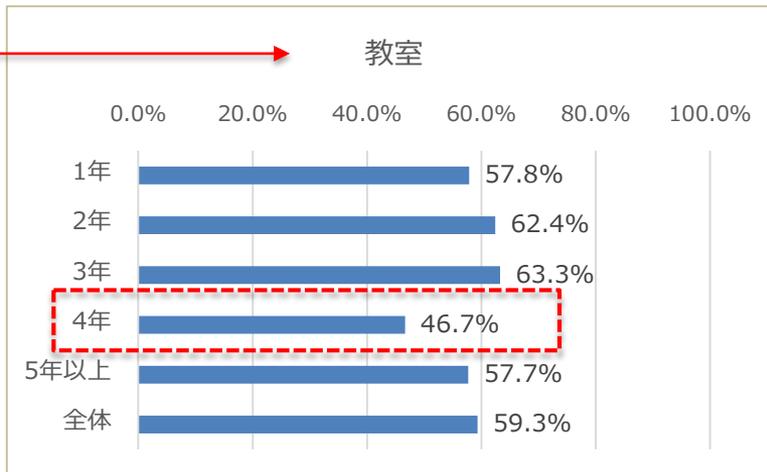
①次の日常生活の場所等のうち、新型コロナウイルス感染の不安を感じるものをすべて選んでください（複数選択）。

- 全体では、「電車バス等の公共交通機関（83.0%）」が多く選ばれた
- 「教室」「学食・売店」は、4年の割合が他の学年に比べると低い傾向となった

【全体集計（人数）】

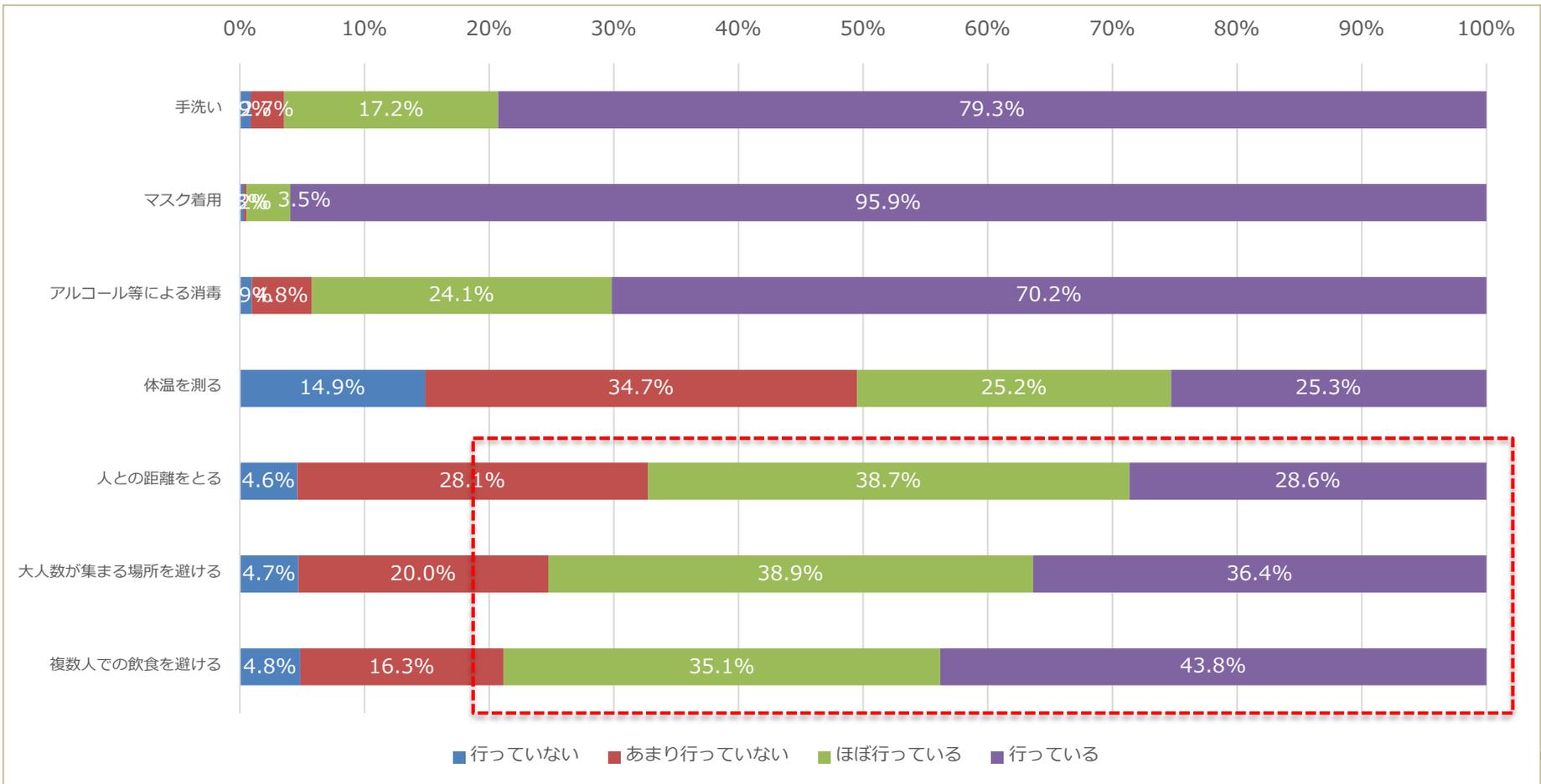


【学年別（割合）】

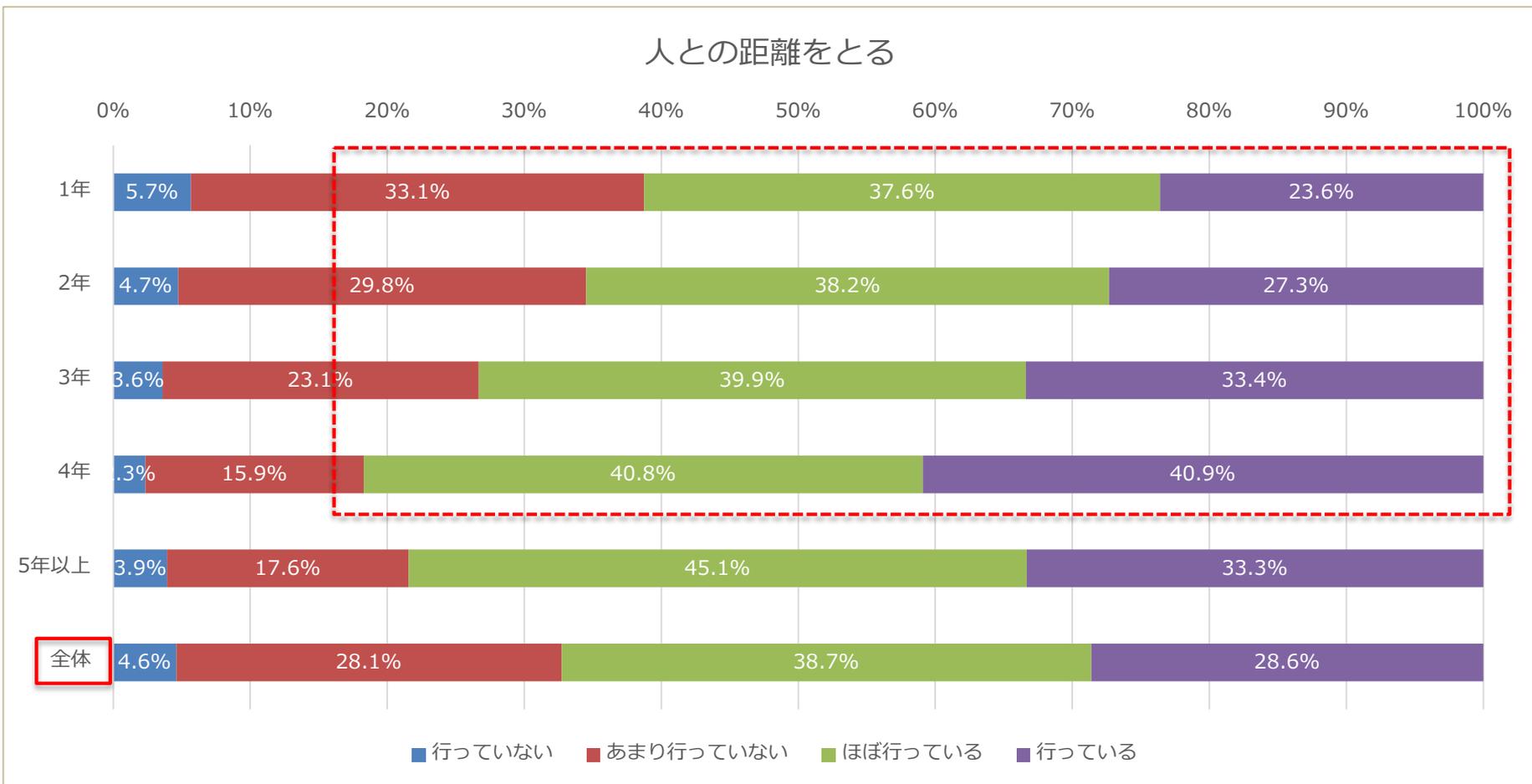


②日常生活の中で、次のことをどの程度行っていますか。

- 全体（ほぼ行っている+行っている）では、「マスク着用(99.4%)」、「手洗い(96.5%)」、「アルコールによる消毒(94.3%)」が高い割合となった
- 「体温を測る(50.5%)」が低い割合となった



- 全体では、67.3%で人との距離をとると回答された
- 学年別では、4年(81.7%)の割合が高く、上位年次ほど人との距離を意識して行動している結果となった



- 全体では、78.9%で複数人での飲食を避けると回答された
- 学年別では、4年(87.5%)の割合が高く、上位年次ほど複数人での飲食を避けている結果となった

